





# お料理ブロガーが群馬県産食材のレシピを発信

## 「ぐんまクッキングアンバサダー」プロジェクトスタート

群馬県本部

群馬県本部は、日本最大級のお料理ブログのポータルサイト「レシピブログ」とコラボレーションし、レシピブログのお料理ブロガー20人が群馬県の食材や「ぐんま」の魅力を自身のブログで発信していく「ぐんまクッキングアンバサダー」プロジェクトを5月20日からスタートしました。長期的な情報発信により、群馬県産農畜産物の認知拡大を図ります。

ぐんまクッキングアンバサダーが投稿したレシピの閲覧画面



プロジェクト期間は来年2月までの10カ月間で、毎月、テーマとなる食材が変わります。初回の5月の食材は、群馬県が誇るフルーツトマト「ブリックスサイン」。その名の通り、糖度（ブリックス）が9度以上と甘くて濃厚な味のトマトで、約60品のレシピをアップしていた

いただきました。

第2弾は「ぐんまの生梅・白加賀」と「レタス」です。群馬県の食材を生かしたおいしいレシピを順次紹介していただきますので、ぜひご覧ください。

レシピの例…ブリックスサインの春雨サラダ



ぐんまクッキングアンバサダーが発信したレシピブログはこちらから



# JAグループ「次世代担い手育成ハウス」が完成

## 新規就農者育成と園芸振興へ島根県立農林大学校に設置

経営企画部

全農とJAしまねは、JAグループ「次世代担い手育成ハウス」を大田市の島根県立農林大学校に設置しました。島根県農業の次代を担う農林大学校の学生と就農希望の研修生が、自営就農を目指すための栽培技術の向上と、島根県園芸作物の実証を目的としています。



島根県立農林大学校の川津章弘校長(右)に目録を手渡すJAしまねの竹下組合長



設置した次世代担い手育成ハウス3棟

完成記念式典が6月6日に現地で行われ、島根県と学校の関係者、JAしまね

の竹下正幸組合長らJA関係者約50人が出席しました。竹下組合長は「研修施設で学んだ皆さんが安心して就農でき、次世代を担う農業者として園芸振興に寄与できる施設としたい」とあいさつしました。

施設は複合環境制御ハウスで、「最先端の環境」かつ「低コストでの栽培体験」が可能で、間口8m×奥行28m(224平方m)を3棟設置しました。

研修品目は、島根県・JAの推進品目を中心に選定し、大学校と連携して育成に当たり、販売面はJAと全農が担います。研修施設によって栽培技術の習得はもとより、安心して就農できる環境づくりを目指します。



# 中国全土のバイヤーに日本産米・加工品PR

「SIAL China(中国国際食品・飲料展覧会)2019」に出展

輸出対策部

シャリ玉提供メーカーと連携し  
中国人バイヤーと商談



好評を得た各県特産ジュース  
などの商談



SIAL Chinaは、中国全土から11万人超のバイヤーが来場する世界最大級の総合食品見本市です。全農ブースでは、北は黒竜江省、南は広東省など中国全土のバイヤーと合計160件超の商談を行いました。

玉成形ロボットを製造する日本メーカーと連携、日本産米でシャリ玉を提供し、注目を集めました。また、加工品では、特に、各県特産のジュースは「味が濃厚でおいしい」としてバイヤーから好評を得ました。

輸出対策部とJA全農インターナショナル(株)、全国農協食品(株)は、現地輸入者、卸業者と連携し、5月14〜16日に中国・上海で開催された「SIAL China2019」にブースを出展しました。

新しい輸出規制はありませんが、今後とも中国向け輸出に取り組んでいきます。



# 第47回全国農協カントリーエレベーター協議会総代会を開催

(公財)農業倉庫基金や全農米穀生産集荷対策部が講演も

米穀生産集荷対策部



総代会であいさつする御子柴会長



総代会終了後、講演する(公財)農業倉庫基金の長瀬仁人理事長

総代会では、平成30年度事業報告と収支決算、令和元年度事業計画と収支予算について協議し、議案は全て承認されました。

平成30年度事業報告では、3年に一度実施するCEの「運営実態調査」や上級オペレーター認定式など実施したことを報告し、また、令和元年度事業計画では、CEの衛生管理強化に向けた手引書などの作成、来年実施する優良CE表彰の準備、

上級オペレーター認定試験や各種研修会などの実施を計画しています。

総代会終了後は、(公財)農業倉庫基金から「カントリーエレベーターの運営に關連した3つのお話」のテーマで、施設における衛生管理、働き方改革とCEの運営体制、フレコンによる人身事故の防止等について、また、全農米穀生産集荷対策部から「米の消費拡大の取り組み」について講演がありました。

全国農協カントリーエレベーター協議会(CE協議会)会長・JA上伊那の御子柴茂樹代表理事組合長)は6月6日、東京・大手町のJAビルで第47回総代会(議長:JA会津よつばの長谷川正市代表理事組合長)を開きました。

# 大阪府交野市にJAファーマーズプチ星田オープン

## 直売所とAコープが一体になった新業態店舗

大阪府本部



大勢の来店客でにぎわう店内

直売所が持つ広域からの集客機能と食品スーパーマーケットが持つワンストップ購買（一拠点購買）機能を組み合わせた店舗で、大阪府では「JA全農ファーマーズ」から「和泉」に続く2店舗目となります。「JAグループ大阪の農産物直売所」という位置付けのもと、販売機能を発揮する拠点として、競争力の強化と

大阪府交野市<sup>かたの</sup>星田に5月18日、「JAファーマーズプチ星田」がオープンしました。旧Aコープ星田店をリニューアルし、地元大阪の採れたて農産物を販売する農産物直売所と、Aコープが一体になった新業態店舗となります。



交野市星田にオープンしたJAファーマーズプチ星田

府内産農産物の販売拡大を図ります。店舗では、府内から集めたりすぐりの青果物や加工品、花き類を豊富に取りそろえています。大阪府本部は、府内JAと連携を取りながら、府内物流を活用した農産物の販路拡大、農家組合員の生産意欲と所得向上を目指します。

### 店舗概要

〒576-0022  
大阪府交野市藤が尾3-3-1  
TEL：072-892-5771  
営業時間 9：00～21：00

# 江崎グリコの「バトンドール」とのコラボメニュー提供

## 神戸プレジール銀座が7月1～31日の期間限定で

兵庫県本部

バターリッチなプレッツェル「バトンドール」(神戸プレジール)



江崎グリコとのコラボで提供する冷製スープの「バトンドール」添え

江崎グリコとのコラボは、「神戸ワイン」の神戸みのみり公社からの提案で、同じ関西の企業が双方のお客さまや関係グループに、新商品や商品を楽しめる店舗を紹介する企画として実施となりました。期間中は、兵庫県産野菜のおいしさを生かした冷製スープに、江崎グリコの神戸限定品「バトンドール」(神戸プレジール)を添えて提供

東京・銀座にある兵庫県本部の神戸プレジール銀座は、江崎グリコ(株)と7月1～31日の期間限定でコラボ企画を実施します。

### 店舗概要

JA全農兵庫直営レストラン  
神戸プレジール銀座

東京都中央区銀座5丁目  
8番1号 銀座プレイス11階

電話：03-3571-8700

ランチ 11:30～15:00 [ラストオーダー 14:00]

ディナー 17:30～22:30 [ラストオーダー 21:00]

日曜定休(月曜日が祝日の場合は日曜営業、月曜休み)



します。「バトンドール」はバターをふんだんに練り込んだ生地をじっくりと焼き上げ、澄ましバターとシュガーのシャワーをくぐらせて作り上げたバターリッチなプレッツェルです。デザートのためのテイタムにも、弾む会話に「バトンドール」という彩りを添えて。ぜひ、この機会に皆さまのご来店をお待ちしています。

# 緊急連載 反グローバリズム・反新自由主義の潮流①

## 横軸・縦軸のナシヨナリズム

日本は、世界屈指の自然災害大国である。さらには、戦争と無関係でいられるかどうか、誰にも保証することはできない。非常事態が発生した際に、国民同士が助け合う心意気、すなわち「ナシヨナリズム（国民意識）」なしで、われわれはこの災害列島で生き延びることは不可能である。ナシヨナリズムには、横軸のナシヨナリズムと、縦軸のナシヨナリズムがある。横軸のナシヨナリズムとは、現在に生きる国民同士による助け合いだ。縦軸のナシヨナリズムは、「将

来の日本国民」のために努力し、投資を積み重ね、先人から受けた恩を将来世代に返すことだ。

縦軸のナシヨナリズムを忘れると「今だけ」、横軸のナシヨナリズムを忘れると「自分だけ」、両軸のナシヨナリズムを

縦軸、横軸のナシヨナリズム双方を失った現在の日本国民の考え方を表現している。

## 食料安全保障とナシヨナリズム

人間は食料を獲得しない限り、生き延びることができない。

# 農業とナシヨナリズム

経済評論家 三橋 貴明

さらに問題なのは、カネ目当ての各種の「改革」により、日本の食料安全保障維持の「仕組み」を破壊しようとしていることだ。

失った人間は価値尺度をカネに収斂させ「金だけ」になる。東京大学の鈴木宣弘教授が言う「今だけ、金だけ、自分だけ」は、

農協法の改正で、全農は、株式会社組織変更できる規定が置かれた。協同組合は買収不可能だが、株式会社は可能である。株式会社となった場合、カーギルなどグローバルな穀物メジャーに買収されるかもしれない。

食料安全保障のためには費用がかかる。カネのことだけ考えれば、外国の農産物を安く「輸入」すれば、国民の胃袋は短期的には満たされるのかもしれない。しかし、未来においても外国が日本に農産物を輸出してく

る。そして、アメリカの農業ビジネスの都合で種子法は廃止され、その上、輸入食品に関する安全基準は次々に緩和されている。

本稿は雑誌『表現者 クライテリオン』（啓文社書房）の連載「農は国の本なり」の第4回記事（2019年1月号）を、著者・出版社の承諾を得て要約・掲載させていただいたものです。

『表現者 クライテリオン』の購読はこちら

オフィシャルホームページ ● <https://the-criterion.jp/>

問い合わせ先：啓文社書房  
TEL ● 03(6709)8872 e-mail ● [info@kei-bunsha.co.jp](mailto:info@kei-bunsha.co.jp)

わが国は「カネ」が理由で、現在の国民はもちろん、将来世代に対してまでも、「安全で十分な食料を、継続的に供給する」ことが不可能にありつつあるのだ。  
このままわれわれが両軸のナシヨナリズムを取り戻すことなく、食料安全保障の再構築に真剣に乗り出さなかった場合、現在もしくは将来の国民が「餓死の時代」に放り込まれることになるだろう。

【要約】



みつはしたかあき 1969年熊本県生まれ。東京都立大学(現:首都大学東京)経済学部卒業。外資系IT企業ノーテルをはじめNEC、日本IBMなどを経て2008年に中小企業診断士として独立。著書に『本当はヤバイ韓国経済』『亡国の農協改革』など。

家畜伝染病拡大を防ぐ!!

# 防疫講習会を全国で開催中

全農は豚コレラの発生を踏まえて、JAグループ全体で防疫のさらなる強化を目指すべくJAグループ職員向け「防疫マニュアル」を制作しました。当マニュアルを用いた防疫講習会を5月から全国で始めましたので、その一部を紹介します。

## 【畜産生産部】

全農は5月31日に群馬で、6月5日に岩手、同日に長野で防疫講習会を開催しました。

「防疫マニュアル」のポイントを冊子、動画を用いて、家畜衛生研究所のクリニック担当職員が解説しました。

また、群馬の会場ではスライドの解説後、車両・車内の消毒についても実演を行いました。

長野の会場では、日ごろの生産者への対応時に聞いた疑問や事例などに関して、具体的な質問が多く寄せられ、所属団体や会社や部署の垣根を越えて貴重な情報共有の機会となりました。

引き続き、関係団体の皆さまと共に、防疫強化に取り組んでいきます。講習会の開催予定や実施に当たって、ご不明な点やご要望などありましたら、お気軽にご連絡ください。

今後とも、JAグループ一丸となって防疫強化の取り組みを実施してまいります。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



「防疫マニュアル」のポイントを説明する家畜衛生研究所クリニック東日本分室の長濱明成職員

## これまで開いた講習会と今後の予定 (更新:6月25日)

県名	日付	県名	日付
群馬	5月31日	栃木	6月28日
岩手	6月5日	広島	7月5日
長野	6月7日	山形	7月17日
富山	6月17日	茨城	7月17日
愛媛	6月21日	香川	7月18日
静岡	6月21日	神奈川	7月30日
秋田	6月27日	新潟	8月2日

講習会予定は随時更新中です。掲載情報のほか、開催している地域や急な変更がある場合がございますので、予めご了承ください。

## 講習会参加者からの主な意見

- ▶ 防疫の重要性を再確認することができた。JAグループの一員として一体感を持って取り組んでいくことが大切だと思う(群馬)。
- ▶ 中国をはじめ海外の方が多く来るようになった。そのような方々にも防疫のことを知ってもらいたい(長野)。
- ▶ 防疫は繰り返し意識付けを行うことが重要。今回の講習などを通じて繰り返し周知し意識付けをしていきたい(岩手)。



群馬県本部で行った車両消毒の実演

問い合わせ先

畜産生産部  
推進・商品開発課  
TEL:03-6271-8236  
FAX:03-5218-2526

全農が提供する畜産情報サイトはこちらから  
<http://jacnet.zennoh.or.jp>





# 労働力支援の観点で

# 無料職業紹介所を開設

近年、農家の減少・高齢化で労働力確保に大変苦労している状況です。これまでは外部労働力の確保をシ

用者が増えているため人材確保が大変難しくなっています。JAおいらせは、「無料職業紹介所」を設け、慢性的な課題である労働力不足の解消に向けた取り組みを行っています。

無料職業紹介所を  
活用しナガイモ収穫  
の人手を確保。農  
家の新山さん(左)、  
求職者の杉本さん  
(中)、事務局の三  
村職員

北里大学生がニンニク  
農家の元で収穫作業  
を支援



## 事務局が人念に聞き取り 求人・求職をマッチング

具体的には、農家が求人者として紹介所へ登録します。求職者の募集は、農繁期に新聞折り込みちらしに求職申込書を入れて募集しています。事務局は、農家(求人者)からは何の作業で求職者が欲しいのか、勤務時間、交通費などを、求職者からは、働ける曜日・時間帯、時給などさまざまな聞き取りをし、両者をマッチングさせます。一番難しい作業となるのがマッチング作業です。求職者は空いた時間にお手伝いしたいし、農家としては人手が足りないのを補うために、求職者希望の時間帯・曜日に合わせる必要があります。

## JAおいらせ (青森県)



作業終了後、大学生と受け入れ農家・事務局がバーベキューを囲み交流

となつてきます。お互い話し合い、作業日・時間帯を工夫することによって求職者とのマッチングがうまく進みます。

## 大学生の援農隊受け入れ サポーター掘り起しも

また、青森県では他県出身者が多い大学生とともに農作業をし、地域農業の現状や魅力を感じてもらい、青森県のイメージアップにつなげることを目的とする事業を

実施しています。

JAおいらせは昨年、「大学生と農業者の連携による農業サポートモデル実証」として北里大学の援農サークル「北里援農隊」20人を受け入れました。これも無料職業紹介事業の一環として実施しました。

実施した結果、受け入れ農家としては「収穫作業がはかどり助かった。大学生と接する機会もないし会話も楽しかった」、大学生は「ニンニク収穫・調製作業が経験で楽しかった」という声をもらいました。

この大学生受け入れの成功をきっかけに、無料職業紹介所をより一層充実させ、農作業支援事業で労働力不足解消を目指していきます。

概要	平成31年3月31日現在
正組合員数	1980人
准組合員数	1523人
職員数	124人
販売品取扱高	80億5千万円
購買品取扱高	17億7千万円
貯金残高	335億9千万円
長期共済保有高	1364億1千万円
主な農産物	ナガイモ、ゴボウ、 ニンニク、ニンジン、ダイコン

# 日本の農畜産物を香港の日常に

## 香港で日本産農畜産物を販売するEコマース事業を開始

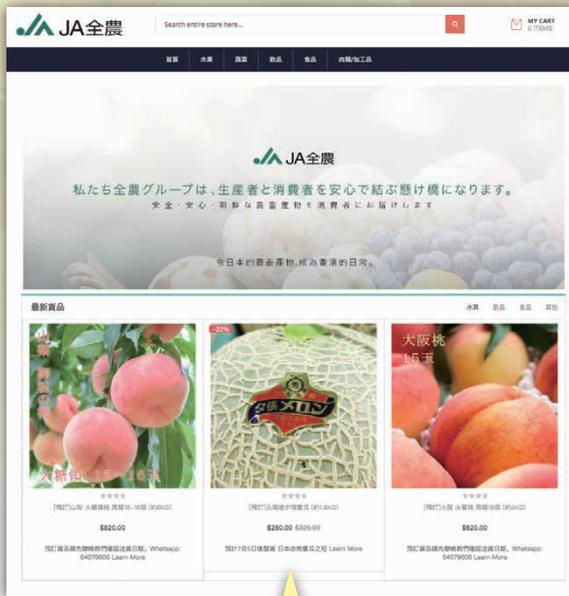
農畜産物の輸出拡大を目的として、昨年4月に設立された全農インターナショナル香港株式会社は6月から、香港の消費者向けに日本産農畜産物を販売する電子商取引(EC)サイトを立ち上げました。

### 【全農インターナショナル香港株】

6月6日に香港で現地メディアを集め、説明会を行いました。サイト名は「jashop.hk」です。まずは、梅、マンゴー、ピオーネ、マスカット、メロン、桃の6種類からスタートしましたが、今後は和牛、米、飲料、加工品など100品目程度まで取扱品目を増やしたいと考えています。

このECサイトでは、香港の消費者に商品を直接販売することを通じて、消費者のニーズから販売戦略を練ることや、情報を産地に伝えることで、商品開発や改善などにつなげたいとの狙いがあります。

全農はこのような取り組みを通じて、「生産者と“香港の”消費者を安心して結ぶ懸け橋」になるよう努めていきます。



ジェーエーショップ、ホンコン  
日本産農畜産物を販売する「jashop.hk」

Jashop.hkはこちらから ▶▶▶



問い合わせのメールはこちらへ

▶▶▶ infohk@zennoh-intl.com

「食と農」の情報を広く消費者へ!  
**スマホアプリを公開中**

JA全農のイベントや新商品に関する最新情報がさらに充実!  
作動環境: スマートフォン iOS8以上 Android4.3以上

JAタウン | 検索

クリック

### JAタウン ショップ紹介

## ホクレングリーンネットショップ

JA夕張市 共運品

とろける果実と芳醇な香り  
世界に誇る北海道ブランド

**夕張メロン**

(秀品) 夕張メロン  
約1.3kg×1玉  
……5600円

ホクレン

**ハム・ベーコン・ウインナーセット**  
7種の詰め合わせセットです

JAタウンは  
こちらから

ホクレン ハム・ベーコン&  
ウインナーセット……4300円

北の大地、北海道産の農畜産物を全国のお客さまにお届けしている「ホクレングリーンネットショップ」から、お中元にピッタリな2品をご紹介します!

まず1つ目は、毎年初せりでも話題になる「夕張メロン」です。

ご注文は7月末まで受け付けておりますが、数量限定の商品となります。この機会に大切な方へのギフトとして、産地直送の「夕張メロン」をご利用ください。

2つ目は、北海道産豚肉を使用した「ホクレン ハム・ベーコン&ウインナーセット」です。ロースハムとベーコンは食べやすくスライスしており、ウインナーは「あらびき、たまねぎ、ミルク、バジリコ、チーズ」の5種類を詰め合わせたホクレン押しセットです。

当ショップは、北海道の青果物、お肉、お米、チーズなども取りそろえていますのでぜひご覧ください!

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>  
▶お問い合わせは [shop@ja-town1.com](mailto:shop@ja-town1.com)

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。